

団体名  <b>豊見城市立上田こども園</b>	連絡先 TEL : 098-850-7876 Eメール : ueta-you@city.tomigusuku.lg.jp
-------------------------------	--

## 1 実践事項 ( ① )

タイトル：「地域の保育園やこども園、小学校との連携」(保こ小連携)

## 2 実践内容

- (1) 地域の保育園、こども園の5歳児(年長)との交流
  - ・夏休みを利用しての小学校施設で交流会
  - ・お散歩交流での他園訪問
  - ・上田こども園へ招待交流
  - ・内容検討を兼ねた職員交流(現時点3回)
- (2) 小学校との交流
  - ・慰霊の日の前に小学校校長に平和集会への参加、読み聞かせを依頼、実施
  - ・水遊びで年長児のみ小学校サブプールの利用
  - ・運動会練習を3回程度、小学校体育館で借用実施
  - ・学童、小学校、こども園合同の避難訓練
  - ・小学校の学習発表会の見学(地域の交流園にも情報提供し、一緒に見学)
  - ・小学5年生との絵本の読み聞かせ交流(年長児のみ)
- (3) 年間の交流回数や内容の見直し
  - ・地域の保育園、こども園との交流回数・・・1回 → 3回へ増
  - ・小学校との交流・・・・・・・・・・・・・・3回 → 5回へ増
  - ・新しい取り組み・・・(保育園・こども園)お散歩交流、小学校体育館にて交流、学習発表会見学  
 ・(小学校)平和集会の取組み、5年生による読み聞かせ(年長児のみ)

## 3 説明資料(写真、グラフ、図、表など)



お散歩交流



平和集会



5年生による読み聞かせ



他園を招待交流

## 4 成果

- ・地域の保育園、こども園との交流は交流回数を増やした事で、最後の招待交流でも「すぐに打ち解けて遊ぶ姿が見られた。」と、他園の先生方の振り返りでも好評価だった。
- ・小学生との交流(絵本の読み聞かせ)や校長先生の園行事の参加協力、施設の借用や行事の見学等定期的に小学校との関わりを持てたことは、就学前のみならず小学校が身近になり、小学生への関心が高まり、憧れや期待が高まる要素となっていた。
- ・就学前に、入学後お世話になる5年生(次年度6年生)と直接交流が持てた事は、子ども達にとっても顔を覚えるきっかけとなるので、今後も続けていきたい交流となった。

## 5 課題

- ・計画を実際に行ってみると、行事が立て込んでいる時に交流が入ってくるなど、年間を通して実施日の再検討の必要がある。
- ・コロナ自粛で減った小学校との交流を今後も、段階的に少しずつ増やしていく。